

医療経営実践協会茨城研究会にて有村本部長が講演を行いました！

2017年3月25日、ホスピタル坂東のチーム活動である「医療連携プロジェクト」の一環として、茨城県産業会館（水戸市）において日本医療経営実践協会関東支部・第2回茨城研究会が開催され、演者として清風会グループ経営推進本部長有村秀幸より「病院の経営改善事例とKPIの活用方法～経営ビジョンの共有と組織の活性化を目指して～」と題し講演を行いました。講演では、ドラッカーのマネジメント論や日本航空の再生局面における多職種チーム主導による業務改善事例にも触れながら、KPIを使用した経営改善に向けた取り組みについて説明がなされました。また、参加者同士のディスカッションを適宜交えつつ、講師と双方向での意見交換も行いました。

当日は病院スタッフをはじめ多くの医療関係者の方々に参加いただきました。また、講演会の終了後は名刺交換会や懇親会も開催いただき、講師の有村を交え病院における経営管理手法のほか、日々の問題点や苦勞など、熱い意見交換がなされました。



【ドラッカーの名言なども取り入れて説明】



【参加者によるディスカッションも行いました！】

清風会グループ（ホスピタル坂東・医療法人清風会）では地域の医療・介護に貢献すべく、医師、看護師、薬剤師などによる講演会や啓蒙活動に加え、今回のような病院・介護事業所の経営改善に対する取り組みの講演など幅広い活動を行っております。

清風会グループでは医療事業において身体合併症など内科、外科、整形機能を併せ持つ精神科病院主体の総合病院である「ホスピタル坂東」をはじめ、介護保険施設「老人保健施設寿桂苑」、生活訓練施設「吉泉苑」、訪問看護「愛心会」、障害者地域活動支援センター「煌」、ライフヘルプセンター「昇祐会」、複数の精神グループホームなど多くの事業を通じて皆様へ適切な医療・介護・福祉サービスが提供できるよう、引き続き活動してまいります。また、医療機関や介護施設、行政などとの医療連携活動も重視しており、適切な治療環境や介護・福祉サービスが行なえるようネットワークを構築しております。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。